※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新政治・経済」（実教出版）						
副教材等	「最新政治・経済　演習ノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治・経済上の語句やデータは教科書を活用して、できるだけ自分で調べて考察することを求めます。その上で現代の社会問題に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察してもらいたいと思います。
・ニュースを見る習慣を身につけ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる自覚を深めてもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

a:知識及び技能
　広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
b:思考力、判断力、表現力等
　現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する力を養う。
c:学びに向かう力、人間性等
　国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて主体的に参加、協力する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係に関する事柄や、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし、その本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できている。	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代日本の政治	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治制度と政治参加	a:政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について理解している。 b:民主政治の本質の基に、現代政治の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 副教材提出	定期考査 ノート提出	ノート提出 授業態度
	現代日本の経済	・現代の経済社会 ・現代の日本経済と福祉の向上	a:経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて理解している。 b:現代日本の経済活動について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:現代日本の経済的な諸課題を主体的に解決しようとしている。			
2	現代日本における諸課題	・日本経済のあゆみとこれから	a:各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 b:各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述できる。 c:よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 副教材提出	定期考査 ノート提出	ノート提出 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	現代の国際政治	・国際政治の動向と課題	a:国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際機構の役割、日本の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	現代の国際経済	・国際経済理論 ・国際経済の動向と課題	a: 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b:相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:現代の国際社会における経済的な諸課題を主体的に解決しようとしている。			
3	国際社会における諸課題	・SDGsの実現にむけて	a: 各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 b: 各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述できる。 c: よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 副教材提出	定期考査 ノート提出	ノート提出 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度